

雇用を守り地域活動を強化

2012-2013年度活動方針決定 2011.10.2「第13回定期大会」

JAM山陰第13回定期大会が、松江市労働会館にて開催され、役員・代議員ら118名が出席した。

多久和執行委員長は「経済は厳しい状況にあり、山陰を代表する大手企業が相次いで企業再編やリストラなど厳しい対応に迫られている。雇用や生活を守るために、労使が真剣に協議し、難局を乗り切ろう」と危機感の共有を呼びかけ、「今大会を持って退任する事となり、今日まで皆さんと共に活動出来た事を心から感謝します」と退任に当たってお礼を述べた。

<来賓の激励と連帯のごあいさつ>

JAMの眞中行雄会長は「JAM山陰は委員長、書記長が同時に交代することとなり、節目の年になるのではないかと。今後も変わらず更に職場により近い活動を活発に行って欲しい」とあいさつし、最重要取り組み課題として、①60歳以降の雇用を確立し、年金支給開始までの生活の安心を確保する②各企業においてボランティア制度を整備して欲しい、と協力を呼びかけた。続いて、多忙にも関わらず駆けつけた津田やたろう参議院議員は、「厚生労働大臣政務官に就任出来たのも、皆さんの応援があったおかげ。これからは、雇用・労働問題については、代弁者として責任をきっちり果たしていく。山陰は他の地方JAMより深いつながりがある。困ったことがあればいつでも連絡して欲しい」とあいさつした。次に、鳥取・島根の地方連

合を代表して矢倉淳連合島根会長から「日頃の連合運動にJAMが中心になって、活躍して頂き感謝している」とお礼を述べ「厳しい状況の企業も多くあるが、連合も全力を挙げて応援していく」と連帯のあいさつを述べた。この他、春の統一地方選で当選した石原真一島根県議と松江市議増員選挙で当選した組織内議員の森本秀哉市議からも当選のお礼と、今後の議員としての決意を述べた。他の来賓には、全労済島根本部の川辺専務執行役員、ろうきん島根県営業本部長でJAM山陰



▲眞中JAM会長と津田参議院議員と矢倉連合島根会長

参与の遠藤渡本部長、内田敬顧問、組織内議員の酒井幸雄湯梨浜町議も出席した。

<委員長、書記長が交代。2012年度の活動をスタート!>

大会は、梅木代議員(ホシザキ電機)・榎山代議員(NTN鑄造)が議長に選出され、両議長の前によって、活動・会計報告が承認されたのち、2012・2013年度運動方針の、東日本大震災から速やかな復興と再生で雇用を守る取り組みと、地域活動の活性化による単組活動の強化などを柱とする方針など、用意された議

▲大会議長の榎山・梅木代議員



▲米子製鋼足田委員長

案は無事承認された。満場一致で決定された。この他、現在裁判闘争中の鳥取電機労働組合、トミタ電機労働組合から、現在の状況報告と、これまでの支援に対するお礼の発言があった。新しく仲間となった米子製鋼労組の足田芳憲委員長より、新加盟のあいさつがあった。また任期満了に伴う役員改選は、多久和委員長をはじめ6名が退任し、新たに細木芳治氏(JUKI松江)が執行委員長に就任。書記長は、川野英樹氏から椎木盛夫氏に交代し、2012年度の活動をスタートした。退任された6名の役員の方々には功労者表彰が行われた。



▲発言する鳥取電機労組藤井代議員とトミタ電機労組藤田代議員

新しい息吹で 言霊感じられる活動に

執行委員長 細木芳治



JAM山陰の発足以来、執行委員、そして副委員長の立場で活動を支えてきましたが、この度、JAM山陰の執行委員長という大役を仰せつかることになりました。多久和前委員長より引き継ぐことになりましたが、新しい体制となつてJAM山陰の活動を後退させるわけにはいかないとの決意で、二十二名の新執行部とともに運動を進めていきたいと考えています。

一九九九年の発足以来、JAM山陰も十二年が経過しました。十年サイクルでいえば、2ステップ目に入っていますが、国内外ともにこれまで以上に大変厳しい情勢にあります。私たちがものづくり産業に働く者も会社との交渉だけではなく、仕事の面でも海外との競争に勝っていかねばならない状況に立たされています。こうした状況の中で、私たちものづくり産業に働く者が本当に報われる社会の実現に向けて、新執行部で力を合わせて新しい息吹により、組合員の皆様の心の中の叫びに真摯に対応し、言霊を感じられるようなJAM山陰の活動にしていきたいと存じます。

組合員の皆様には、今後も変わらぬご理解ご協力と、活動への参画をお願い申し上げます。

2012,2013年度 JAM山陰役員体制

執行委員長	細木 芳治 (JUKI 松江労組)	執行委員	須山 孝義 (三菱農機労組)
副執行委員長	小椋 昌美 (日圧スーパーテクノロジーズ 労組)	"	福田 真子 (菱農エンジニアリング 労組)
"	乗本 克己 (三菱農機労組)	"	岩田 幸治 (NTN 鑄造 労組)
"	山岡 広幸 (ヒカワ精工 労組)	"	佐藤 恭治 (JMS 労組)
書記長	椎木 盛夫 (JAM)	"	飯塚 祐子 (JMS 労組)
副書記長	松田 武志 (神鋼機器工業 労組)	"	渡津 義文 (ハイレックス島根 労組)
執行委員	橋本 英之 (大鳥機工 労組)	"	為石 雅之 (ホシザキ電機 労組 島根支部)
"	橋本 充雄 (鳥取電機工 労組)	"	鬼村 悟 (渡部製鋼所 労組)
"	高嶋 淳 (明治製作所 労組)	会計監査	藤田 雅志 (トミタ電機 労組)
"	森脇 毅 (オーエム製作所 労組 宍道支部)	"	古藤 安広 (ヤスイ 労組)
"	稲田 忍 (ダイヤキコウ 労組)	"	福田 崇 (内藤鉄工 労組)

今大会をもちまして退任することとなりました。在任中のご指導ご鞭撻に対し、心よりお礼申し上げます。

執行委員長	多久和英紀 (三菱農機 労組)	執行委員	錦織 昇 (菱農エンジニアリング 労組)
執行委員長代行	堀内 幹夫 (三菱農機 労組)	会計監査	吉田 健 (テクノメタル 労組)
書記長	川野 英樹 (JAM)	"	原 直史 (ダイハツメタル 労組)



▲今大会をもって退任された役員の方々お疲れ様でした



▲2012, 2013年度新執行部の皆さん

交流と友情を深めよう 2011青年協サマーキャンプin緑水園

2011.9.10 「初挑戦！やってみようキンボール」

JAM山陰青年協は、鳥取県西伯郡南部町にある緑水園で「初挑戦！やってみようキンボール」と題した2011サマーキャンプを開催し、12単組から47名が参加した。宮野浩二議長（三菱農機）は「キンボールと言う初めてのスポーツなのでケガに注意し、楽しんでもらいたい。バーベキューの際に、他単組の人たちとの交流を深め友情を強めて欲しいとあいさつした。



▲バーベキューを囲み楽しく歓談

キンボールは6チームで総当たり戦を実施。最初のぎこちない動きもゲームを重ねると、お互いに声をかけポジション確認をするなど、チ



▲一致団結して勝利に向かってアタック！

ムが一つになって楽しんだ。スポーツで汗を流した後は、バーベキューを楽しみながら、会社や職場の近況からプライベートな情報交換で交流を深めていた。



9 サマーキャンプ参加者の感想よい

- ◆簡単そうに見えたが、ボールの方向など意外と頭を使う。
- ◆全員が協力しないと勝てない競技で他単組の人と深く交流できたと思う。
- ◆キンボールは初めてだったが、簡単で大変楽しめた。
- ◆思っていたよりハードなスポーツで結構体力を使いしんどかった。
- ◆スポーツ、バーベキュー交流会を通じて他単組の仲間と交流し仲良くなる事が出来た。このような機会があれば、また参加したい。
- ◆今後、単組の体育レク活動で、参考にし、取り入れたい。

繋がりを大切に 2011.9.17 シニアクラブ「第2回総会」



引き続きの協力を要請した。

本年度は、退職者の共済事業をシニアクラブに位置付ける体制整備と、会員拡大を図るべくPR強化を軸とした活動方針を決定。また、それに伴う規約の改定も確認された。今後は、現役と連携し会員拡大とシニア共済の推進に取り組むとしている。

JAM山陰シニアクラブは、9月17日に第2回総会を開催。内田敬会長は「昨年9月にJAM山陰シニアクラブを発足し、丸一年が経過。退職後の生きがいに、OB同士、OBと現役が繋がりを持つ組織として役割を発揮していきたい。今年度は、機能強化と会員拡大に向け具体的な取り組みに着手し、確実に前進させていく」と意気込みを述べた。来賓には、現役組織を代表しJAM山陰の多久和委員長が臨席、先輩方のご活躍とシニアクラブの活動へのご尽力に感謝を述べて、



女性活動の周知を 2011.8.27 With第3回設立準備委員会

With山陰設立準備委員会は8月27日、「第3回準備委員会」を松江市労働会館で開催し、準備委員ら6名が出席。高松準備委員長(日圧ST)は「委員会の参加人数が少ない時こそ力を合わせ濃い議論を」と呼びかけ、「準備委員会の活動もJAM山陰全体に伝えて欲しい」とあいさつした。委員会では設立準備として「With山陰規約や方針」について話し合われ、「中央WithやJAM山陰の方針を軸に、山陰独特の課題も肉付けしていけば」との提起もあった。

また、役員構成では各地方Withを参考に検討。各地協構成単組数に比例した定数で地協選出方式に決定された。委員から「結成時点でつまづかないよう役員選出を慎重に行なうべき。Withの活動を多くの組合員に周知し、女性組合員の声を引き出していきたい」と積極的な意見が聞かれた。



女性の視点で「有言実行」 2011.9.23 連合島根・鳥取女性委員会合同研修会

参加者より一言

古曳 優子さん(三菱農機労組)

電機連合中央執行委員の斉藤千秋さんより、「女性の視点でしか気づかないことがたくさんある。そういう活動をしていきたい」との話を伺い、何事にも前向きに、楽しみ・やりがいをみだしていくことの大切さを感じました。参加者による意見交換では、皆さんの組合活動での悩みや思いを知ることができ、良い機会になったと思います。

種田 敦さん(三菱農機労組)

講師の斉藤さんの話では、会議は開始・終了時間を決めてそれを守るなど、活動のルールを作ることが大切だと話されました。また、組合役員として大切なことは、組合員さんから寄せられる要望・意見を実現するために努力することです。「有言実行が信頼を生む」と仰っていました。自分も信頼が得られるような役員になれるようにやっていきたいです。

杉谷 健一さん(三菱農機労組)

女性の組合役員を輩出するために、まず組合活動とはどういうものか、基本的なベクトル合わせを行ない、底上げしてしようということでした。身近に目標となる人がいれば良いのですが、女性役員が少ない現状では、トップに立って活躍されている女性の話を聞く機会は大切だと思いました。また、他の労組の仲間と交流する事も、前に進む大きな力となると思います。

地協活動の強化と充実へ

2011.8.25 出雲地協「第1回幹事会」



出雲地協は、第1回幹事会を渡部製鋼所組合事務所にて開催し、役員・幹事ら9名が出席。翌週に開催予定の単組代表者会議に向けて、「2011年度活動・決算報告」や「2012年度活動計画・予算案」について協議した。来年度の活動計画では、労使会議や単組交流会の参加者拡大へ「参加費を安くしては」「日程を早めに決定すれば調整しやすいのでは」などの意見が出された。山岡広幸議長(ヒカワ精工)は、地協活動の強化と充実へ向けて「必要に応じて幹事会を開催し、様々な難題も意見交換と意思統一を図り、みんなで解決していきたい」と抱負を述べた。また、次年度の役員選出に関する提案では、単代会議で協議・決定する事となった。

迅速な情報共有へ

2011.8.30 鳥取地協「第6回単組代表者会議」

鳥取地協は、倉吉市の神鋼機器工業労組事務所にて、第6回の幹事会を開催した。主議題である「2012・2013年度役員選出」と「2012年度活動計画」を協議した。小椋昌美議長(日圧ST)は「新年度から新加盟単組を迎える予定だ。全単組へ情報が届き、同じ目的で活動が展開できる体制を確立していく。今後は議事録を作成し、欠席単組へ訪問もしくは郵送し、周知と徹底を図る」と活動強化に向けた案を説明し、理解と協力を求めた。役員体制では、会計監査の吉田健氏(テクノメタル)から藤田雅志氏(トミタ電機)へ交代し、その他の役員は留任となった。活動計画の策定では、幹事会を単組代表者会議に置き換え、JAM山陰執行委員会の開催後、速やかに単組代表者会議を開催する旨確認、迅速な情報の共有が図られることとなった。

